JULIUS Newsletter

ユリウス Success 通信 成績向上版

2026 秋 AUTUMN

ユリウスに通う中高生の定期テスト結果の成績向上事例をお伝えします

こんにちは！ユリウス本部の学習推進部です。
このユリウス通信では、定期テストで”よく頑張った”生徒さんを紹介します。
勉強にはコツがあって、まずは「成功した人のやり方を**真似る**」ことから始めてみる。
ユリ通成績向上版では「これなら真似ることができそう」「成績良い人はこんなことをやってるんだ」など、ためになる記事を載せていきますので、参考にしてみてください。

KeyWord 好成績が取れるかは2週間前で決まる！



良い成績を取ることが出来ている人達には「2週間前」までの過ごし方に共通していることがあります。

目指せ 好成績！

ユリウスでは、定期テストの結果で、これがマークできたら「好成績」という指標を掲げています。

- 得点が80点以上（80%以上）
- 平均点の135%以上の得点
- 前回の得点＋10点

上記のいずれか1つでもクリアーできたら「好成績者」としています。

ユリウスでは教室にて好成績優秀者の表彰を行っています。

テストの2週間前がポイント

良い成績を取ることが出来ている人達には「2週間前」までの過ごし方に共通していることがあります。

- 2週間前までにテスト範囲の学習は終わらせている→苦手な単元は残り2週間で克服
- 英語・数学については「予習型」
  ”予習”→”学校の授業”→”復習”
  →”テスト前に再度復習の流れ
- ワークや授業で扱ったプリントは3回は取り組む

苦手意識の強い科目、弱点が多くなってしまった科目を予習型に切替えるには通常期は時間が足りないと思います。学校のお休みの「期間講習」がベストチャンスです。

成績UP ① 学年末「赤点」だった数学で平均点をクリア！

私立中　2年　Bさん　サッカー部所属



昨年は部活中心の生活になっていて、ユリウスにはただ通っているだけになっていました。先生に出された宿題もやらずに数学はどんどんわからなくなりました…



このままではまずい…

ユリウスの先生から「春休みに中1の範囲を全部復習するからその覚悟で！その代わりに赤点から必ず抜け出させる！」と言われました。春休みは毎日部活の帰りにユリウスに来て、授業と自習、家に帰って宿題というルーチンを送りました。これまではテスト2週間前なんて、言われても何もしませんでしたが、今回の中間2週間前は1日おきにユリウスの授業を入れ、1週間前は毎日自習に来ました…

担当指導者　A先生より
昨年の1年間も担当していたので、学校のテキスト・教材プリントを含め、どこまで復習しておくべきか、本人の理解度から、どの程度の演習を積む必要があるかを考え、本人と共有しました。春休み中に昨年1年間の英語と数学の復習は終えることが出来、新学期からは「予習」に入ることが出来たのが良かったと思います。

成績UP ②

私立中　1年　Dさん

英語で満点！ 成績良かったら ユリウスやめる約束でがんばった！

受験を終えて、本当は塾をやめたかった。ユリウスの先生やお母さんが続けなさい！と言われてるから通っています。
なんで私だけ受験終わったのに勉強しなきゃいけないの…？
お母さんに「英語で良い点数とったらユリウスやめても良い？」と聞いたら「いいわよ」と言うので、受験の時と同じくらい頑張った。
結果は英語で100点でした。お母さんもユリウスの先生たちもメチャクチャほめてくれて、とても嬉しかった。何より先生と一緒に頑張ったことが結果に出たことが嬉しかったです。
ユリウスやめようと思ったけど、もう少しだけ頑張ってみようかな？
お母さんにはお願いしてみます（笑）

結局続けて通室しています。
夏休みも頑張ったそうです。





※表彰の写真は成績UP①②の生徒とは関係ございません。

暑く長い夏休みも終わりました。秋になり学校行事や部活動など本格的に忙しくなる時期でもあります。
ユリウスをお休みする理由で「部活で忙しい」というのが最も多いのですが、忙しいから毎週決められた曜日でユリウスで勉強するのです！ユリウスをペースメーカーとしてもらえたら嬉しいです。

好成績　最優秀教室

ユリウス府中教室　柴﨑室長



1学期中間好成績率トップの柴﨑室長にインタビュー！

S：柴﨑室長　N：中野のコメントです

N：最優秀教室おめでとうございます！受賞した率直な感想をお願いします
S：素直に嬉しかったです。でもこれは当たり前のこと。特に中1生にとっては初めてのこと。生徒たちにも最初のテストはとても大切と話してきていたので良かったです。
N：定期テストで良い点数を取るために必要なことは何だと考えてますか？
S：思うように点数が取れない生徒に共通しているのは「計画を立てることが苦手」だということ。勉強は計画的に進めることが大切です。テスト範囲はどこまでなのか？いつから対策を始めるかを大まかで良いのでスケジュールを立てることを４月中に行いました。
N：立てた目標点数をクリアするために何を行いましたか？
S：生徒も指導者も本気になって目標に近づこう、近づけようと感じさせるような教室の雰囲気づくり。学校のワークも1ケ月前から「2.5回」やるように指示。間違えた箇所だけをやり直す0.5回、それでも出来なければ、もう1回で3周は回すことを徹底させました。
N：生徒のモチベーションを高めるために取り組んでいることはありますか？
S：月並みですが、生徒と勉強以外のことでも会話をすることです。これからも生徒のために頑張ります！

発　行　ユリウス本部　学習推進部
〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10　日能研関東ビル6F
☎　045（914）3081
中野　光徳